

# はせさんず

2013 冬号 NO.64

ニュース

2013年11月22日(金)発行  
 NPO法人たすけあい大田はせさんず  
 理事長 佐藤 悟  
 〒146-0082 東京都大田区池上4-28-3  
 はせさんず(会員制) 03-5747-2610  
 ヘルパーステーション 03-5747-2816  
 ケアサポート 03-5747-2800  
 デイホーム 03-5747-2660  
 元気かい 03-5747-2605  
 FAX専用 03-5747-2620

## サービス提供責任者の業務 ヘルパーステーションの記録

介護保険制度では、訪問介護事業所ごとに、訪問介護員(いわゆるヘルパー)の人数やサービス提供時間数などに基づき、決められた人数のサービス提供責任者を配置することが定められています。前号で予告した「ヘルパー日誌」掲載に先立ち、今号ではヘルパーのなかでも特別な職務を担っているサービス提供責任者について特集します。

ケアマネジャーなら知っているけれど、サービス提供責任者って何かしらと思う人も多いでしょう。(長い職名なので、介護の用語ですが、以下「サ責」とします。)

はせさんずヘルパーステーションには現在6人のサ責がいます。ケアマネジャーからの依頼があると、まず、利用者の状況に合わせて介護計画をたて、ヘルパーを選んでサービスを開始します。その後も定期的に利用者宅を訪問して円滑にサービス提供が行われているか、利用者の状況に変わりがなければ確認します。100人近くの利用者とは60人以上のヘルパーをつなぐ調整役として、サ責はなくてはならない存在です。

\*\*\*\*\*

### 〇月〇日(代替ヘルパー役)

朝、ヘルパーのひとりから発熱で休みたいと電話連絡。代わりのヘルパーとして、急きよ利用者Aさん宅に向かう。Aさんは馴染みのヘルパーで



ヘルパーに出かける玄葉千佳子サ責

「利用者宅の玄関でインターホンを鳴らしているけど応答がありません」とヘルパーからの電話。先日は外出してしまいいたので、留守でサービスキャンセルとなった利用者。今日も留守かと思いつきながら電話すると、テレビを見ていてインターホンに気付かなかつたらしい。「ヘルパーが訪問していただきますので、玄関を開けてください」とお願いする。

### 〇月〇日(留守かな?)

利用者Bさんのサービスは、今日から新しいヘルパーが担当する。利用者宅へ同行して、説明しながら一緒にサービスを実施する。手際の良いヘルパーでスムーズに終了。利用者の評判もよかった。

### 〇月〇日(同行訪問)

利用者Cさんは食事作りを



ヘルパーに同行する助川純子サ責

〇月〇日(サービスの工夫)

含む生活援助サービスを利用中だが、毎回メニューが同じなので、ヘルパーと相談して、栄養のバランスがよく利用者の好みにも合いそうな献立を提案してみることにした。

### 〇月〇日(サービス見直し)

最近、利用者Dさんは歩行が難しくなってきたとヘルパーから報告。利用者とは相談し、通院時の病院内は車いすを使用することにした。

### 〇月〇日(サービス連携)

利用者Eさん宅は浴槽が深く入浴のたびに大変なので、浴槽台をいれることをケアマネジャーに提案した。楽になったと利用者が喜んでる。

### 〇月〇日(マツチング)

利用者ごとに来月の予定をパソコンに入力し、ヘルパー全員の予定表を作成。休みの届けが出ているヘルパーの代わりを探したり、新規契約の利用者についてサ責全員で相談しながら担当ヘルパーを決めたりする。

### 〇月〇日(緊急対応)

「訪問したら、利用者は具合が悪くて寝ています。どうしたらいいでしょう」とヘルパーからの電話。ひとり暮らしの高齢者なので、ケアマネジャーと連絡を取り合せて、救急車を要請することにした。救急車到着まではヘルパーに付き添ってもらい、サ責は救急車に同乗して家族の到着まで病院に待機した。



ヘルパーと打ち合わせする内海玄宗サ責



電話対応する棧敷洋子サ責

## 介護保険改正に向けて

はせさんずは、さわやか福祉財団による復興支援の一員として石巻市の雄勝など海浜部を中心として活動中。石巻市は、開成仮設住宅団地に包括ケアセンターを開設し、医療、保健、介護、福祉を統合する地域包括ケアの構築に向け動き出した。

一方、社会保障制度改革国民会議では、地域包括ケアシステムの構築こそが最大の課題として提言。また平成27年度の介護保険改正では「範囲の適正化等による介護サービスの効率化及び重点化を図る」(社会保障改革推進法・第7条)に基づき、予防給付の見直しにより、要支援1と2が介護保険から切り離され新しい総合事業(要支援事業・新しい介護予防事業)として区市町村の事業となる方向。事業内容は区市町村の裁量に任せられ、地域格差が懸念される。さらに、担う人材としてボランティア、NPO、民間企業、社会福祉法人などを活用して地域の実情に応じた取り組みをするという案がある。

12月開催の講演会では、介護保険改正と要支援の動向について考えてみたい。(佐藤)



ヘルパー研修会で説明する鈴木敦子サ責

**第17回 はせさんず講演会のお知らせ**  
**“介護保険改正と要支援の動向”**  
 ★講師：服部万里子さん  
 ★日時：平成25年12月21日(土) 10:00~12:00  
 ★会場：池上会館  
 ★申込TEL：5747-2610

### 市民後見人養成 基礎講座 保証人について

はせさんずでは市民後見人養成基礎講座を実施し、修了生には翌年4回のフォローアップ講座を用意しています。

以前、任意後見の依頼があり、二度ほど訪問し、契約しようとした矢先に依頼者からアパートの契約更新の保証人と、入院の際の保証人もやっ



たもらいたいと言われました。後見人は保証人にはなれないです。すよと、一番頼み

たいことが駄目では意味ないです。すねと言われ中止になりました。このことから、ひとり暮らしで身寄りのない人にはまさにこの点が一番必要なことではないか、この対応ができないと

今の後見制度だけでは解決しな

いと感しました。そこで、保証人を引き受けている団体をフォローアップ研修に招き、具体的な話を聞くことにしました。名古屋に本部のあるNPO法人きずなの会の専務理事である小笠原重行さんに講義をお願いし、11月8日夜、デイホームを会場に19人が参加しました。全国組織として現在、愛知県、岐阜県、東京都、静岡県、横浜市、滋賀県に事務所を開設。2001年から今までに6000人と生活支援

契約をしていただきます。当日は東京事務所長の杉浦秀子さん、相談員の大和田香織さんも同行されました。身元保証人の役割はA病院、施設、アパート等の金銭の債務保証、B入院、入所、入居先の生活面の支援、C死亡時の事務手続き、葬儀、納骨の支援で、これらの支援を実施するにあたり、金銭管理や法的な面では連携する弁護士法人が担当する、この保証人を受けると、金銭預託契約をして一定額約180万円を預かる、支援は24時間365日、緊急支援も行う。となるとお金のあふりしか頼めないのではと思いが、福祉基金を設けて、経済的に恵まれない高齢者や障害者も引き受ける。生活保護受給者については特別支援体制をとり、24万円の預託金と月々18000円の分割で対応しているとのこと。基金は寄付や相続人寄付などで賄っているそうです。成年後見人だけの役割だけでは解決しないところに独自に対応しているNPOがあることに大きな驚きを覚え、はせさんずの市民後見人活動の

これからの方向にも参考にすると感じました。(矢嶋)

おたふれあいフェスタはせさんずは、晴天に恵まれた11月16日(土)、17日(日)に、平和の森公園でフリーマーケットに出店。値付けし梱包した品物を車両で公園まで搬入。延べ43人のボランティアが売り子になり汗を流した結果、約52万円の売上げ。今後の活動資金として役立てていきます。品物の提供や、値付け作業、売り子としてご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

平成25年度大田区職員研修 入職2年目の大田区職員の現場体験研修を引き受け、9月17日〜10月18日のうち4日間で7名の職員が、デイホームで利用者の話し相手、脳トレ、外出の同行などを体験しました。



売り子に奮闘した2日間!

### 職員採用

事務局だより  
職員採用  
デイホームに  
9月1日付で介護職の渡邊由香子さんが、9月1日付で非常勤看護師の秋田愛子さんが、9月16日付で介護職の河村裕美さんがは



また、ケアサポートに9月16日付でケアマネジャーの平山明美さんがはりました。どうぞよろしくお願

### 2014年版 カレンダー発売中

A4サイズ一部700円  
お申込は、事務局まで  
今年はA4サイズのみ  
写真は2013年版



12月に講演会を開催するため、例年開催する忘年会はありません。講演会については表面の案内を参照ください。

「よりよいデイホームにするのに何かひとつ充実させるとしたら」と研修生に質問したところ、①グループワークでお互いをカバーし合うレクリエーションを取り入れる②地域ともっとかかわる③帰る前の待ち時間に映画鑑賞などを取り入れる④利用者同士が話す時間や作業する時間を増やす⑤近隣の保育所・幼稚園、小学校などとの交流をするなどの意見が出ました。

### はせさんず各部門スタッフより 聞いて! 聴いて!

**会員制たすけあい活動**  
フリーマーケットの準備として品物の値付けを大澤宅で実施。日曜の朝10時、手伝いの人たちを自家用車で迎えに行ったり、電車や自転車でも来てもらったりして総勢19人が集まった。小物と寝具、瀬戸物、衣類の3グループに分かれて作業し、ダンボール約100箱に梱包した。これは500円でも、1000円でもお買い得ねなどと言い合いながら、夕方4時まで熱心に働いた。天気もよさそうで当日が楽しみ。(大澤恵美子)

**ヘルパーステーション**  
日々、利用者という人生の大先輩を見て、おじぎや言葉づかいひとつにしても相手を思いやる心を学ぶことができ、感謝でいっぱいです。「あなたも自分の老後を考えることがあるの?」「結婚の方が先ね」などと言われ、まだベテランへの道のりは遠いですが、利用者「あなたが来てくれるとホッとします」と安心してもらえるヘルパーめざして、スキルも心も磨いて成長したいと思

**ケアサポート**  
思いがけなく脅威となった台風の季節が去り、インフルエンザの時期を迎えています。高齢の皆様、インフルエンザ予防接種をしましたか。地域包括支援センター徳持、はせさんずケアサポートなどの連携で、インフルエンザ・ノロウイルスの感染予防講座が11月末に開かれます。さまざま相談はもちろんお土産も出ます。関心のある人はケアサポートに連絡ください。この冬を元気に乗り越えま

**デイホーム**  
調理員の一日は朝の2回の手洗いから始まり、調理器具の熱湯消毒、食材のチェックをして、最後にミル、極細の調理に取りかかります。魚は骨抜きのため、焼くと縮んで小さくなってしまい残念な思いをすることもありますが、毎日安全で、おいしい食事を出したいと願っています。衛生面では先日の保健所の検査で手洗い後の菌が驚異的に少ないとほめられうれしく思

**元気かい**  
はせさんず事務局の業務のかたわら、元気かいのお手伝いを始めて11ヶ月経過しました。会計整理と毎月発行する月度予定「お誘い」の作成を担当しています。撮影した草木花の写真やイラストを貼付けし季節感を出すように心がけています。引き続き行事内容についても、いろんな情報を集めて企画しますので、ご参加ください。また行事内容に対するご意見等も受けつけていますので是非お聞かせください。(井出清美)